

労災ケア通信

第90号
2025年2月17日
発行：一般財団法人
労災サポートセンター
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル10F
TEL 03-6834-2510(代表)
FAX 03-6834-2530
ホームページアドレス
<https://www.rousaic.or.jp>

令和七年(巳年)

新春・正月の抱負

入居者の皆様、新しい年を迎えられ、皆様にとって令和七年が素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。

今年も引き続き、利用者の皆様が安心して過ごせる環境を整え、より良い介護サービスを提供してまいります。

令和六年の日本は、能登半島地震に始まり、能登半島豪雨など多くの自然災害の発生や猛暑の被害もありましたが、日本にとって多くの良い出来事もありました。特に、北陸新幹線の金沢―敦賀間の延伸開業、日本の探査機「SLIM」の月面着陸や、ドジャースの大谷翔平選手の大活躍は、日本全体に希望と誇りをもたらしました。

私たちが新しい年を迎えて、よりよいサポートができるよう挑戦し続けたいと思います。

今年一年、職員一同、力を合わせてサポートさせていただきますので、本日もどうぞよろしくお申し込み申し上げます。

労災サポートセンター

ケアプラザだより

ケアプラザだより

インターンシップに参加して

10月7日(月)から北海道岩見沢農業高等学校の生徒さんが参加するインターンシップを実施しました。その生徒さんから感想をいただきましたのでご紹介させていただきます。

2年 高橋 杏里

私がインターンシップでケアプラザを訪ねようと思ったのは、母親が介護の仕事をしていて、自分も興味をもっていたからです。

今回のインターンシップを通して、介護の大変さがよくわかりました。ナースコールが鳴るとすぐにお部屋に向い、足が止まることばかりありませんでした。お風呂やトイレも一人で出来



介護リフターを学ぶ様子
(向かって右から高橋さん、金田さん)



消防訓練で放水体験
(前列左：堀さん)

ない方が多く、私が知らなかった介護の仕事がありました。

この体験で介護への興味や理解がより深まりました。これを将来に活かしていきたいと思います。

2年 金田 凜利

私がインターンシップ先をケアプラザに選んだ理由は、母が介護の仕事をしており、小さなころから話を聞き、とても興味をもっていただけからです。

最初の印象は覚えることが多く、体力も使い大変な仕事だと思いましたが、インターンシップを終えてみると、大変なこともあるけれど、それ以上にやりがいを実感することができました。将来は人と関わる仕事に就きたいと強く思うようになりました。

2年 堀 沙友華

私の親戚が介護の仕事をしており、小さい頃から話を聞き、実際に祖母の介護も手伝っていくうちに介護に興味を持つようになりました。

期間中に行われた職場体験では、家族の介護とは違って、その人に合わせた介護があり、本当に大変な仕事であることがわかりました。

今後はこの経験を忘れずに、介護のことをもっとたくさん知って、前向きに進路を決めたいと思います。

「秋を満喫！ 茶話会」

総務課

施設の木々が紅葉している10月23日（水）、市内ボランティアの方々にお手伝いいただき、茶話会を実施しました。参加された方には、お盆に抹茶と和菓子、小花が乗せられた「お抹茶セット」が提供され、ゆっくりお茶を頂きながら会話を楽しまれていました。

今回はコロナ禍以降、久しぶりに開かれる茶話会だったため、かつて生け花の先生をしていらつしやった入居者の方に花を活ける実演をしてもらう特別企画も用意していました。しかし、直前に参加できないというアクシデントが発生し、急遽ボランティアさん達が代役を引き受けてくださり慣れた手つきで素敵な生け花を完成してくださいました。



抹茶と和菓子に笑顔がこぼれました。

「お花と一緒に写真を撮ってほしい」

ケアプラザ富谷

「心に響いた年忘れ音楽会」

12月4日（水）「年忘れ会」を開催しました。ボランティアの皆さんによるバイオリンと歌の演奏会が行われ入居者の方々にとって一年の締めくくりを楽しむ貴重な機会となりました。会場には、これまでにない多くの入居者様が集まり温かい雰囲気になりました。演奏会では、クラシックの名曲など



ボランティアさんによる生け花の作品



お抹茶セット

とリクエストされる入居者の方も多く、茶話会は大成功のうちに終了しました。



演奏に聞き入る参加された入居者の方々

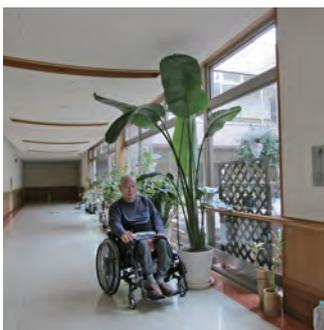
が次々と披露され、聴衆はその美しい音色に魅了されました。特に、リクエストに応じて演奏された「川の流れるように」は、多くの方々の心に響き、会場は一気に盛り上がりを見せました。ボランティアの皆さんの情熱と技術が光る演奏に、入居者様は笑顔になり、会場は一体感に満ちていました。年忘れ会は大好評のうちに幕を閉じ、「来年もぜひ演奏してほしい」という声が多く寄せられました。ボランティアの皆さんのご尽力に感謝するとともに、今後このような心温まるイベントを開催したいと思いました。

「四季折々の植物に癒し、

園芸活動の喜び」

総務課

ケアプラザ富谷の正面玄関を入った右側には日光が差し込む中庭、通称



大きく育ちました！

「光庭」があり、その庭を囲むようにガラスサッシの廊下があります。いつの頃からかこの場所に、園芸好きの入居者の方々が思い思いの植物を持ち寄りそれぞれに観葉植物や鉢植えの花の世話を楽しんでいます。トマトやラディッシュ、イチゴを植えている方や、金柑やレモン、ミカン等々を育てている方もいらつしやって、四季折々に様々な花や実を楽しむことができます。猛暑だった今年、熱帯花木のハイビスカスは11月上旬まできれいな赤い花を咲かせていました。また、持ち込まれた当時は1メートル足らずだったストレリチア・オーガスタは、現在2メートル位にまで成長し、大きな緑の葉を広げています。植物には、ストレスを減少させ、癒しやリラクゼーション効果があり、育てることで五感を刺激し感受性を豊かにする効果も期待できるそうです。園芸好きの入居者の方々は、今日も穏やかな表情で植物のお世話を楽しんでいます。

ケアプラザ四街道

ケアプラザ四街道に入居して

田代 潔

私は令和6年12月にケアプラザ四街道に入居した田代潔といいます。以前は建設会社で鉄骨の電気・ガス溶接の仕事をしていましたが、67歳の時に労災事故に被災して脊髄を損傷し、障害者になりました。

受傷後は、妻が一生懸命身の回りの介護を引き受けてくれたお陰で、今まで自宅で生活することが出来ました。妻には感謝でいっぱいです。

しかしながら、私も妻もお互い高齢になり、これからの生活に対する不安が大きくなったため、ケアプラザ四街道にお世話になることを決意しました。私の現在の趣味は折り紙細工です。誰に教わったわけではありませんが、生来の負けず嫌いの性格と持ち前の手先の器用さで、何とか独学で作品を作ることが出来るようになりました。



折り紙細工を手にする
田代潔さん

写真に写っている鶴の作品は、ケアプラザ四街道に入ったあと、1日で作上げた記念すべき第一作目の作品です。

書いて、伝えて、感謝の言葉

めざせ！職場の活性化

介護課長

ケアプラザ四街道では、組織全体を活性化するためのマネジメント方法の一つである「フィッシュ哲学」を取り入れています。これは、「遊ぶ」「態度を学ぶ」「注意を向ける」「楽しませる」という4つのマインドが軸になっています。

そのマネジメント方法の実践として、感謝の言葉を伝える取り組みを行っています。

これは、普段は照れくさくて相手に伝えることのできない感謝の言葉を、葉の形を模したメモに書いて「Thank Youの樹」と呼ばれる掲示板に



Thank Youの樹

張り付けるといふものです。今では写真のとおり沢山の「感謝の言葉」が生い茂っており、職員のみならず、委託業者の方からの感謝の言葉も見られます。

施設運営に携わるスタッフの皆さんが楽しみながら働き、組織力・顧客満足度の向上に繋がることを確信し今後このような取り組みを続けていきたいと思えます。

ケアプラザ瀬戸

スイーツに舌鼓 年忘れ会

総務課

今年の夏は記録的な猛暑が続き、秋を感じる間もなくいつしか12月に入りクリスマスイルミネーションが輝く中、今年最後のイベント「年忘れ会」を開催しました。

今年入居された2名の方に入居者様の代表となっていただき、サンタクロースに扮した施設長が、入居者の皆さんへのおさやかなクリスマスプレゼントを贈呈しました。

会では、豪華なスペシャルランチに加え5種類のスイーツを用意し、入居者の方々には好きなスイーツを選んでいただきました。

ランチを楽しんだ後は、今回メイン



クリスマスプレゼントの贈呈



アマチュアバンド「FGC」による演奏

イベントの地元アマチュアバンド「FGC」の演奏が披露され、入居者の方々は手拍子と身体でリズムを取り楽しいひとときをすごされました。

コロナ対策もかなり緩和されて来ましたが、健康と安全を考慮しながら、以前の様なケアプラザに戻る事ができるよう、頑張っていきたいと思えました。

魅力いっぱい！陶器の町瀬戸

総務課

ケアプラザ瀬戸のある瀬戸市は、『瀬

戸物』の名前のとおり、窯業で有名で、毎年9月には35万人が訪れる「せともの祭」で大いににぎわいます。

また市内に瀬戸市美術館があり、瀬戸市にゆかりの深い作家を中心に陶芸・絵画・彫刻等の作品が展示されていて、次回の施設行事では美術館を訪れる「芸術鑑賞ツアー」を実施する予定です。

ケアプラザ瀬戸の施設見学とあわせて、魅力ある美術館やせともの祭にも是非お立ち寄りください。

ケアプラザ堺

「華やかな食卓に笑顔 年末年始」

介護課

ケアプラザ堺では、12月25日（水）クリスマスの日、施設長主催の喫茶イベントを開催しました。

感染対策をしたうえで、入居者の方々と共に珈琲を楽しむ穏やかなひとときを楽しみました。

また正月は元日からおせち料理が食卓に並びましたが、普通食・軟飯食・ソフト食の三種類ともに、給食業者さんが腕によりをかけ、工夫をこらした盛り付けをしてくださり、正月にふさわしい華やかなお重が提供されました。中でもソフト食の盛り付けは毎年、彩



施設長主催の喫茶イベントの様子



華やかなおせち料理

り鮮やかで入居者の方々に今年も好評でした。

皆様は、目で堪能し、匂いで食欲が沸き、食事の最中も笑顔がこぼれ一年のスタートのお食事を満足していただけたようでした。

「大盛況！阪急百貨店移動販売」

介護課

11月13日（水）に阪急百貨店による移動販売を開催しました。

阪急百貨店による移動販売は初めての開催とあって、販売開始前から多く

の入居者の方々が行列をつくり、大盛況のうちに終了しました。

特に人気だったのは、シュガーバターサンドというお店のお菓子、ティラミスとどら焼きで、どちらも早々に完売となりました。

入居者の方々からは「普段なかなか手に入らない商品が買えて嬉しい」といった喜びの声を多数いただきました。

安全面の配慮から、車椅子の方々は3名ずつ分かれての入場制限にご協力いただき、皆様のご理解をいただいたおかげでスムーズに開催することができました。

今回大好評だったため、3月12日（水）に第2回を開催する運びとなり、入居者の皆様は今から大変楽しみにしていらっしゃる様子で、次回も皆で協力して楽しいイベントにしたいと思えます。



大盛況の移動販売の様子

ケアプラザ呉

本マグロの寿司を提供 年末お食事会

総務課

ケアプラザ呉では、12月4日（水）、毎年恒例の「年末お食事会」を開催しました。食堂の入り口に大きな雪だるまアートを、また食堂内には季節の花「ポインセチア」などを飾り、入居者の方々を出迎えました。

今年も給食業者（株）LEOC様にご協力いただき、お食事のメインに「握り寿司」を提供しました。自慢のネタは鮮度抜群の「本マグロ」で、入居者の方々は大喜びでした。

「もう少し食べたい」という方のためにフリードリンクやスイーツなどのバイキングコーナーも用意し、お腹いっぱいになるまで思う存分楽しんでい



本マグロを堪能！豪華なお食事

ただくことができました。

また会場内にクリスマスソングや昔懐かしい音楽をBGMで流し、雰囲気盛り上げました。

短い時間ではありましたが、入居者の方々にとって気分転換になったようで、これからも皆様に喜んでいただける行事を多数開催できるよう、職員一丸となって取り組んでいきたいと思いをしました。

『労災重度被災者作品展見学会』

総務課

「第19回労災重度被災者作品展」リハビリからアートまで」が、11月13日から15日まで、広島市のJMSアステールプラザ市民ギャラリーで開催されました。10年ぶりの地元広島での開催ということもあり、当施設では作品展にお連れする見学会を初日の13日に行いました。



熱心に鑑賞される入居者様

当施設で開催した書道教室で、10名の入居者の方々が思い思いにしたためた「書」をこの作品展に出展しました。作品展見学会には出展した入居者のうち4名の方が参加しました。

作品展に参加した入居者の方々は、ご自身の作品はもちろんのこと、全国におられる施設入居者や在宅の方々の作品を熱心に鑑賞し、深く感動されていました。各々の作品には制作した経緯や制作の様子、作品への思いなどがキャプションとして添えてありました。

入居者の方々は、受付で配付されていた色付きシールを「イイね」の思いを込めてキャプションに張ることを楽しみながら鑑賞されていました。

当日は地元のテレビ局の取材もあり、夕方のニュース番組で放映されました。また、来年度の作品展への出展意欲を伝えて下さる入居者もおられ、どのような作品を制作されるか、今から楽しみにです。

ケアプラザ新居浜

「焼き芋会」

総務課 加藤 佑奈

11月6日(水)に職員が丹精込めて炭火で焼き上げた焼き芋を提供する催し物を開催しました。



できたての焼き芋をほおぼる入居者(小野田)様

ご参加いただいた入居者の皆様から、「口ごとに寒くなり、温かい飲み物や食べ物が必要になってきた季節に美味しい焼き芋を食べることができてよかったです。恒例の焼き芋会が開催されるのが楽しみなので、これからも毎年開催してほしい。」というご意見をいただき、本開催を楽しみにしていらっしゃる入居者様のためにも、毎年恒例の行事を大切にしつつ、今後は、新しい行事も盛り込めたいと思います。

「年忘れ会」

総務課 加藤 佑奈

12月4日(水)に年忘れ会を開催しました。今回の行事は、入居者の皆様からのご意見を反映し、より楽しんでいただけるよう工夫を凝らしました。

まず、近隣中学校吹奏楽部の過去の演奏映像をモニターに映し出し、懐かしい音楽を楽しんでいただきました。

ケーキや淹れたてのコーヒーを提供し、入居者の皆様同士でコミュニケーションをとりながら、和やかなひとときを過ごしていただきました。

開催後には、「ワイワイできて楽しかった。年忘れ会は年に一度だから、もっとこつこつみんなが集まる行事が増えたらいいの」というご意見をいただきました。このようなご意見を大切に、今後も入居者の皆様が楽しめる行事を企画してまいります。

おかげさまで今年の年忘れ会も成功



演奏に聴き入る入居者の皆様



ケーキや淹れたてのコーヒーをみんなで楽しく味わう入居者の皆様

裏に終了し、入居者の皆様に喜んでいただける行事ができて良かったです。これからも、皆様からのご意見を反映し、より良い行事を提供してまいります。

ケアプラザ宇土

「ゆく年に思い巡らし」 恒例行事

「年忘れ会」

行事運営委員会

ケアプラザ宇土では、12月11日(水)に、年忘れ会を開催しました。オープニングとして、女性7人のボランティアアグループ「カラ・カラ」の皆さんにコーラスを披露していただきました。参加された入居者の皆様は、誰もが聴き覚えのある懐かしい童謡や心躍るクリスマスソングに、リズムをとりながら楽しく聴き入っておられました。



カラオケ歌合戦で熱唱する入居者様

続いての「カラオケ歌合戦」では、入居者7組の皆様の熱唱に加え、サンタクロースに扮した施設長と介護課長のデュエットの飛び入り参加もあり、会場は大いに盛り上がりました。締めくくりには、入居者代表行事運営委員が当たりくじを引いて当選者を決定する「お楽しみ抽選会」を実施し、20名の皆様に賞品をプレゼントしました。

参加された入居者の皆様は、ゆく年の出来事に思いを巡らしながら、来る年も良い年となりますよう祈りつつ素敵な時間を過ごしていらっしゃいました。

「1年を締めくくる」

写真クラブ定例会

介護課

ケアプラザ宇土では、12月18日(水)、この年最後の写真クラブの定例会を開



ボランティアさんによる総評の様

催しました。この日の会では、「ケアプラザの四季：冬」をテーマとして、入居者の皆様から作品(写真)を提出していただいた中から、一人一票で約50人(事前投票を含む)が投票に参加して特選と入選を決定しました。

人間の強い気持ち伝わってきました

第19回労災重度被災者作品展を開催しました

当財団では令和6年11月13日から15日までの3日間、広島県広島市にある「JMSアステールプラザ市民ギャラリー」において「第19回労災重度被災者作品展」(リハビリからアートまで)を開催しました。この作品展は、労働災害で重度の障害を負った方々が、多くの困難を克服し制作した作品を展示するもので、中央労働災害防止協会が主

催する全国産業安全衛生大会に合わせ開催されています。作品展には、56名の方々が112点の作品が展示されました。そのうちケアプラザ(岩見沢、富谷、四街道、瀬戸、堺、呉、新居浜、宇土)の入居者23名の方々が46点の作品が寄せられました。展示会場には、作品を出展されたご本人やそのご家族、全国産業安全衛生大会に参加された企業の安全衛生担当者など150名を超える方々が来場され、作品を熱心に鑑賞されました。

★財団HP「労災重度被災者作品展」のページで、「第19回開催結果」をクリックしていただくと、作品等がご覧いただけます。



展示会場には、作品を出展されたご本人やそのご家族、全国産業安全衛生大会に参加された企業の安全衛生担当者など150名を超える方々が来場され、作品を熱心に鑑賞されました。